

令和8年(2026年)4月1日発行

新入生の皆さんへ 理事長からのメッセージ

社会の求めに 耳を澄ませて

心を刺激されるテーマ、ものづくりの楽しさを体感していきます。自分のやりたいことを専門領域として追いかけていくよ。とことん打ち込んで失敗を重ねた末に獲得した実験結果、製作物はか

日本工業大学に入学された皆さん、この新たな学びの場で、実り豊かな4年間にしていただきたく思います。それぞれ出発点は、一人ひとりの興味関心がある目に入ってくるところからでしょう。ここから一歩歩き始めると、探究



理事長 柳澤 章

コースを擁する本学にはそうしたチャンスがふんだんにあります。様々な分野の学生がチームをつくり、それぞれの技術が集積される取り組み、ものづくりは痛快であり、大きな自信となります。実体験的学習と、その裏付けと

違いありません。そしてキャンパスでの様々な活動、イベントなどを通じて新たな友人ができ、それをきっかけに知らなかった分野に視野が大きく広がることは、大学での学びの醍醐味と言えます。3学部7学科2

今、社会環境はテクノロジーの驚異的な進歩とともに、めまぐるしく変貌を遂げています。技術者のあり方を巡っても、一方では不要論が起り、他方では人間の創造性こそが価値を持つなど議論は尽きません。実工学も進化を続けています。さらなる進化の担い手は皆さんです。人類社会の求めに耳を澄ませ、目を凝らし、心えうる技術者となることを目指してください。健闘を祈ります。

なる理論学習、抽象と具象を行き来する学び。私たちが半世紀以上に渡って培い、「実工学」と名づけています。実感となるまで学び、理論を現実化し、現実社会に役立てていく。皆さんの先輩方のこうした力は産業界で高く評価されています。



ようこそ 実工学のキャンパスへ

新入生の皆さんへ 学長からのメッセージ

人生の幹を 大きくする経験を

であると同時に、人生の軸を形づくることができない期間です。皆さんにお伝えしたいのは「一つの枠にとらわれることなく、やりたいことを思い切りやってみよう」ということです。無駄に思える経験、自分には関係なさそうに



学長 竹内 貞雄

筋の道を選ばず、名門ケンブリッジ大学で学ぶことを決意しました。学業と競技の両立は過酷で、睡眠不足や体調不良、さらにはアキレス腱断裂という大きな挫折にも直面します。何度も「続ける意味」を見失いかけたといえます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今、皆さんの胸の中には、期待、不安、そして「自分はこの大学で何を学べるのだろうか」という問いがあるのではないでしょうか。大学生活は、専門知識を身につけるための時間

見える活動こそが、人としての幹を太くし、将来の困難に耐える力になることがあります。2025年世界陸上女子2000メートルで銀メダルを獲得したアミー・ハント選手は、若くして世界の注目を集めながらも、競技一

それでも彼女は歩みを止めませんでした。「一つの分野に固執する必要はない。人生は自分の力で、もっと豊かに、多彩にできる」。その信念が、彼女を再びトラックへ、そして学びの場へと押し戻しました。競技の成功だけでなく、学問と向き合い、支えてくれる人の存在に気づいた経験が、彼女の人生を深く、強いものにしたのです。大学生活で得られる価値は、成績に残るものだけではありません。挑戦し、迷い、遠回りの経験こそが、あなた自身を支える確かな財産になります。この4年間、専門を磨くことと同時に、心が動く方へ一歩踏み出してほしい。回りの先にこそ、あなただけの人生を形づくる出会いと成長が待っています。

それでも彼女は歩みを止めませんでした。「一つの分野に固執する必要はない。人生は自分の力で、もっと豊かに、多彩にできる」。その信念が、彼女を再びトラックへ、そして学びの場へと押し戻しました。競技の成功だけでなく、学問と向き合い、支えてくれる人の存在に気づいた経験が、彼女の人生を深く、強いものにしたのです。大学生活で得られる価値は、成績に残るものだけではありません。挑戦し、迷い、遠回りの経験こそが、あなた自身を支える確かな財産になります。この4年間、専門を磨くことと同時に、心が動く方へ一歩踏み出してほしい。回りの先にこそ、あなただけの人生を形づくる出会いと成長が待っています。

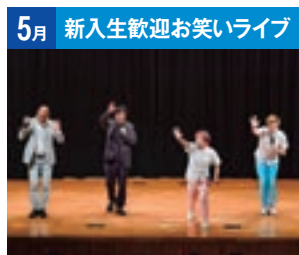
学生自治会主催イベントの紹介

充実した大学生活を送るため、イベントに積極的に参加しよう!



中央執行委員会委員長 松本 諒穂

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学生自治会を代表して心より歓迎します。皆さんは今、新しく始まる大学生活に期待や不安で胸がいっぱいではないでしょうか?大学生活では今までと異なり自由度の高い環境で生活できるため、様々なことに挑戦可能で成長できる機会が多くあります。そのため大学にあるものを最大限活用してください。ここで紹介する学生自治会のイベントは、若杉祭や体育祭のような楽しいことや、定期学生総会など真面目な行事まで幅広くあります。充実した大学生活を送るための糧となると思います。ぜひ、気軽に参加してみてください。新入生の皆さんが卒業の際に充実した大学生活であったと思うように、自分なりの方法で大学生活を有意義なものにして、思いっきり楽しんで下さい!!



カレッジマイスタープログラム(CMP)は、技能と関連知識を並行して修得する、本学独自の実践的技術者育成プログラムである。テーマの異なる14の個別プログラムがあり、専門科目の授業の一環として実施されている。希望する個別プログラムのCMP科目を1~3学年に累進で履修し、ものづくりの企画・設計・製作・評価という一連のプロセスを、

カレッジマイスタープログラムのススメ



EVカートチャレンジ工房 ヒューマノイドロボット研究 建築工房

教員や先輩学生による適切なサポートの下、学生主体で学んでいく。CMP科目を修了し、関連科目での学修も含め、高い技術と知識を身につけたと認められた学生には、選考の上で「カレッジマイスター」の称号が与えられる。本プログラムは全員必修ではないものの、実工学教育を掲げる本学に入学したからには、是非とも挑戦していただきたい。

Table with 5 columns: 機械加工工房, フォーミュラ工房, プロダクトデザイン工房, 知能化モビリティ, Science Grit, ヒューマノイドロボット研究, ロボット製作プロジェクト, フィジカルコンピューティング工房, 建築工房, 物理体感工房, 温故知新ものづくり学, SDGs for Engineers, ロボットボランティア, EVカートチャレンジ工房. Includes a note about start/end periods for some courses.

# 皆様のご入学を心より歓迎いたします

教務部長からのメッセージ

機械学習と「人の学修」の違いは何でしょうか？ビッグデータ解析に基づいた予測・分類や生成は機械学習の得意とするところですが、人に特有な主体的に探究する姿勢は持ち合わせていません。

大学では「主体的な学び」が基本的な姿勢として重要となります。進級・卒業要件など、大学での学びの基本ルールをよく理解し、それらを守ったうえで、学生の皆さん自身が大学生活で何を身につけたいかを良く考え意欲を持って「選択」して学ぶ、という主体的に学ぶ姿勢を常に意識しましょう。「選択」の対象は、専門知識・技能を修得する科目、実験実習やカリキュラム、イニシアチブプログラム等の実践力が身につく科目に加え、課外



## 主体的に学んで成長を実感しよう

教務部長・教授 吉野 秀明

活動も含めた人間力を育む教育プログラムが揃っています。「選択」するのは皆さん自身です。本年度より、大学での学びの成果と皆さん自身の成長を「見える化する仕組み」を本格的に導入します。これにより、日々の学びが皆さん自身の成長につながっていることを実感できるようにになります。また、学びの振り返りによって次の学修目標を自律的に設定し、更なる成長につながることを期待しています。

知的好奇心を持って主体的に学び、創造する喜びを味わいながら、多様な経験を通じて大きく成長していく。そんな皆さんの生き生きとした姿を間近で見守り、共に歩んでいけるよう、教職員一同、全力でサポートします。

学科長・学群長からのメッセージ

### 基幹工学部 機械工学科



#### eスポーツとスポーツ

学科長・教授 神 雅彦

テニスを始めて十年になります。頭の中では軽やかにプレイしているつもりですが、実際は違うようです。スポーツのゴールはイメージ通りに動けるようになることです。スポーツのゴールはイメージ通りに動けるようになることです。スポーツのゴールはイメージ通りに動けるようになることです。

と。それを目指して日々練習する訳です。では、eスポーツはどうでしょう。それはビデオゲームそのものです。競技会の仕組みがスポーツと同じなので、そう呼んでいいの幸せのためにです。

### 先進工学部 ロボティクス学科



#### 多彩な経験から多才な人材に

学科長・教授 安原 鋭幸

ロボットは人々の暮らしを支え、困難を解決する社会貢献の要です。作り上げるには、機械・電気・電子・情報など多岐にわたる知識と、それらを繋ぎ合わせる技術が必要で、学科のカリキュラムはそれを網羅し、ロボットを作った動かし、その実践的・多様な内容で構成されています。多角的な視点で身につけることができます。

一方で、授業だけではなくカリキュラム、クラブ、サークル活動などで志を同じくする仲間と積極的に関わり、共に試行錯誤を繰り返す経験は授業では学べない多様性を身につけることができます。是非とも多様な価値観に触れながら充実した4年間を過ごしたいと考えています。

### 基幹工学部 電気情報工学科



#### 好奇心を可能性へ

学科長・教授 木許 雅則

電気情報工学科の一人として、皆さんを心から歓迎します。本学科では、電気・電子回路、プログラミング、通信、制御、AIなどの幅広い学びでハードとソフトの両面から、ものづくりと情報技術を支える力を身につけていきます。日々これらの分野に触れていく中で、ぜひ自分に関心をもち、皆さんの活躍を心より願っています。

の両面から、ものづくりと情報技術を支える力を身につけていきます。日々これらの分野に触れていく中で、ぜひ自分に関心をもち、皆さんの活躍を心より願っています。

### 先進工学部 情報メディア工学科



#### AI時代に生きる

学科長・教授 呉本 亮

人工知能(AI)技術の発展は驚くほど迅速です。何故でしょう。それは「人類にとって使いやすい道具が必要であるから」と私は考えます。そのため、コン

人工知能(AI)技術の発展は驚くほど迅速です。何故でしょう。それは「人類にとって使いやすい道具が必要であるから」と私は考えます。そのため、コン

### 基幹工学部 環境生命化学科



#### 環境生命化学科から新たな一歩を

学科長・教授 芳賀 健

高等学校に入学する時も、中学校とは色々と違うと感じて戸惑うことも多かったのではないのでしょうか。大学でも高等学校とは異なることが多々あります。例えば、大学では、専門科目や設計課題など、新たな挑戦に困難を感じる場面があるかもしれません。そのような計課題など、新たな挑戦に困難を感じる場面があるかもしれません。

環境生命化学科から新たな一歩を踏み出しましょう。環境生命化学科から新たな一歩を踏み出しましょう。

### 先進工学部 データサイエンス学科



#### 卒業後のイメージを持とう

学科長・教授 糸野 文洋

データサイエンス学科は、昨年度に初めての卒業生を輩出し、それぞれの夢や目標を胸に社会へと力強く羽ばたいていきました。初代の卒業生たちは、情報系企業

データサイエンス学科は、昨年度に初めての卒業生を輩出し、それぞれの夢や目標を胸に社会へと力強く羽ばたいていきました。初代の卒業生たちは、情報系企業

### 建築学部 建築学科



#### 建築とその魅力を実感しよう

学科長・教授 勝木 祐仁

建築を志す仲間として皆さんを迎えられることを、大変嬉しく思います。専門科目や設計課題など、新たな挑戦に困難を感じる場面があるかもしれません。そのような計課題など、新たな挑戦に困難を感じる場面があるかもしれません。

建築とその魅力を実感しよう。建築とその魅力を実感しよう。

### 共通教育学群



#### ベストスタートを切ろう

学群長・教授 佐藤 杉弥

みなさんが入学で得たものは、大学を使い倒す権利です。せっかく購入したサブスクを、使わないともったいないですね。高校までとは制度が違いますから、うまく使う

みなさんが入学で得たものは、大学を使い倒す権利です。せっかく購入したサブスクを、使わないともったいないですね。高校までとは制度が違いますから、うまく使う

この春の日にみなさんを本学に迎えることができ、うれしく思います。さて私ごとで恐縮ですが、先日ロサンゼルスに赴いた際、完全自動運転のタクシースーパースタイルである「Waymo」を利用しました。専用アプリに目的地を入力すると、数分後には無人タクシーが眼前に現れるのです。タクシー運転手と英語で会話する必要もなければ、遠回りされてしまったらと心配もありません。一言も話さず、安全に目的地まで運んでくれるのです。すごい技術ですね、ほんとうに私は驚きました。そして驚くと同時に、この手の技術がありとあらゆる分野で普及すると、人間の労働はどのように変わるのかについて考える機会となりました。多くの職種



## 人工知能に敵わないのならば

学生支援部長・教授 石原 次郎

において、人間よりも人工知能の方がより正確に素早く結果を出すのであれば、必然的に人間の出番は激減するでしょう。私たちが行ってきた「労働」が、実は壮大な無駄な集合体になるのではないかと、最近思うのです。人生の多くの時間を労働に費やしてきた私たちは、今後、何をすべきか悩むべき良いのでしょうか。そういえば、みなさんも労働から解放されている存在ですね。本学での4年間で、労働をベースとしない価値基準をぜひ見つけてください。来たる人工知能時代を生き抜くコミュニケーションの時間として、有意義に過ごされることを期待して止みません。改めまして、ご入学おめでとうございます。

# 私たちが皆さんの大学生生活をサポートします!!



菅原有香子  
財務課  
江原 慎一

財務課は、本館108室にあり、学費等の収納や経理全般及び資産管理を行っています。学費等に関するご相談（延納含む）や両替等はお気軽に窓口にお越しください。皆様の学生生活が充実したものになるよう職員一同全力でサポートいたします。



就職支援課  
日下部 真樹

就職支援課は、学生一人ひとりの夢実現をともに目指します。1・2年次は将来を見定めたプランの構築を支援するキャリア教育、3年次からは就職活動の流れに沿ったガイダンスや、きめ細やかな個別相談により、学生の夢の実現をサポートします。



留学生センター  
塩入 修

私たちは、留学生の皆さんをきめ細やかにサポートします。生活面や学業面などで分からないことがあったら、まず留学生センターへ気軽に相談してください。交流イベントの場である「コミュニティラウンジ」も自習の場として利用できます。



学生相談室  
川合 耕一郎

新生活への期待の一方で、環境の変化に戸惑いや不安を感じることもあるでしょう。学業や人間関係、進路の悩みなど、どんなにささいな事でも専門のスタッフが丁寧に相談に乗ります。私達と一緒に一歩ずつ進んでいきましょう。



スチューデントラボ  
櫛橋 康博

スチューデントラボは、発想を自分の手で形にできる場です。機械加工、電子工作、木材加工に必要な道具や工作機械を揃え、個人・団体、学年問わず、専門職員による指導も受けられます。積極的に活用し、「ものづくり」する楽しさを体験してください。



学園情報システム部  
石井 一浩

学園情報システム部は、学生の皆さんが利用する情報システムの管理運営を行っています。情報システムは学生生活になくてはならないツールです。しっかりルールを守って利用してください。ご不明点があれば、お問い合わせください。



学生支援課  
齊藤 望

課外活動や奨学金の手続きなど、学生生活に関することは学生支援課が担当しています。大学での挑戦は、思考力や判断力を育て将来の力になります。少しでも興味のある活動があれば、積極的に挑戦してみてください。



教務課  
穴井 正洋

教務課は、これから皆さんが4年間の学生生活を安心して学業に取り組むことができるようにサポートします。学業に関して疑問や不安に思うことがありましたら、一人で悩まずに、気軽に教務課に相談してください。



学修支援センター  
大出 明

学修支援センターでは「分からないところをそのままにしない」を合言葉に、学習指導、履修相談をはじめ生活全般の相談に対応しています。みなさんの「大学生活の困った」をサポートします。チューター、スタッフと一緒に解決しましょう。



健康管理センター  
松井 克典

健康管理センターは、学生及び教職員の健康相談や応急処置、運動指導を担当します。原則週1回、校医による健康相談も実施していますので、気軽にお越しください。また、定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行します。



LCセンター  
瀧ヶ崎 隆司

LCセンター（図書館）では、専門書や一般図書を借りることはもちろん、新聞や雑誌の閲覧、個別ブースでのDVDの視聴などができます。また、個人あるいはグループでの学習スペースもあるので、積極的に利用してください。



英語学習  
サポートセンター  
神 雅彦

大学の学びは授業だけではありません。TOEICへのチャレンジで得たスコアは一生の勳章になります。海外留学の経験は一生の思い出になります。世界との会話はとても楽しいものです。4年間はあっという間ですよ。さあ、今から始めましょう!



NITクリエイト  
林 勇司

NITクリエイトは、学生食堂・売店運営、資格取得・保険相談、アパート紹介、および学内の清掃・警備等の業務を行っており、皆様の学生生活をサポートします。ぜひ一度スチューデントサービスデスクまでご相談にお越しください。

### 専門職大学院日より

## 「解く自分」を俯瞰する技術

大学院技術経営研究科 専任准教授 小笹 文

日々の学習や研究、実務において、私たちは日々、目の前の複雑な課題に対して「いかに正解を出すか」という問いに心血を注いでいます。特に本学で学びと探求を深める皆さんにとって、論理的思考や専門技術の研鑽はアイデンティティそのものでしょう。しかし、専門性が高まれば高まるほど、成果の質を決定づけるのは、技術力以上に「メタ認知」の能力であると私は考えています。メタ認知とは、端的に言えば、自分の思考や理解の状態を客観的に観察し、制御する能力を指します。いわば「プレイヤーとして走る自分を、スタジアムの観客席から観察するもう一人の自分を持つようなものです。たとえば、参考書や論文を読んで「理解した」と感じたとき、それは本当の理解なのか、文字を追っただけではないかと自問する。実験結果が仮説と合致したとき、確認バイア

スに陥っていないかを疑う。こうした内省の習慣がメタ認知の核心です。メタ認知能力が高い人は、「自分は今、特定の前提に固執していないか?」「なぜこの手法を選んだのか?」「と自らに問いを立て続け、思考のデバッグをリアルタイムで行うことができます。大学や大学院という場は、単に高度な知識を習得する場所ではありません。自身の思考プロセスそのものを研究対象とし、知の枠組みを再構築する訓練の場です。変化の激しい実社会でリーダーシップを発揮する鍵は、この「俯瞰する力」にあるはず。専門知識という「武器」を研ぐと同時に、それを扱う「自分」というシステムを客観視する。この二段構えの視点こそが、既存の境界線を越え、新たなイノベーションを生む原動力となると信じています。

**N100円朝食**

栄養満点  
おいしい朝食が  
100円で  
食べられます!!

実施日や時間  
など詳細は特  
設サイトで

**資格等取得奨励金支給制度**

必要な資格を取得して奨励金を申請しよう!

|                       |                  |                       |                   |                          |
|-----------------------|------------------|-----------------------|-------------------|--------------------------|
| 技術士<br>(第1次試験)<br>10万 | 二級<br>建築士<br>10万 | システム<br>アーキテクト<br>10万 | 宅地建物<br>取引士<br>5万 | TOEIC<br>1~10万<br>※点数による |
|-----------------------|------------------|-----------------------|-------------------|--------------------------|

学生が主体的に学び、将来のキャリアに活かすため、資格等の取得を奨励しています。2024年度は89名に奨励金を支給しました。詳細は教務課、本学WEBサイトで。

